

Narita Airport News

NAN

2018年10月1日号 No.321

成田空港の運用状況(2018年8月)

区 分	6月	7月	8月			
			前年同月比(%)	8月	前年同月比(%)	日平均
航空機発着回数(回)	20,688	21,623	99	22,311	101	720
国際線	16,606	17,286	102	17,603	102	568
旅客便	14,497	15,272	104	15,602	105	503
貨物便	1,896	1,824	88	1,794	86	58
その他	213	190	101	207	120	7
国内線	4,082	4,337	92	4,708	95	152
旅客便	3,962	4,168	90	4,619	95	149
貨物便	43	39	76	26	49	1
その他	77	130	160	63	124	2
航空旅客数(人)	3,447,039	3,693,362	104	4,003,567	105	129,147
国際線	2,894,379	3,081,612	107	3,295,539	107	106,308
日本人	1,045,518	1,162,039	104	1,541,866	105	49,738
外国人	1,465,661	1,557,467	112	1,433,975	112	46,257
通過客	383,200	362,106	97	319,698	101	10,313
国内線	552,660	611,750	92	708,028	95	22,840
国際航空貨物量(t)	178,607	173,635	89	168,510	90	5,436
積込	92,752	86,231	92	83,355	92	2,689
輸出	65,519	59,845	110	58,012	109	1,871
仮陸揚	27,233	26,386	68	25,343	68	818
取卸	85,855	87,404	87	85,155	88	2,747
輸入	60,858	63,814	98	62,182	100	2,006
仮陸揚	24,997	23,590	66	22,973	66	741
給油量(kl)	358,157	369,068	97	373,805	98	12,058

(注) 1. 7月、8月は速報値。

2. 国際航空貨物量は東京税関の資料による。

羽田空港の運用状況

区 分	6月	7月	8月	
			前年同月比(%)	日平均
国際線(人)	1,440,494	1,515,323	106	48,881
日本人	757,167	795,416	105	25,659
外国人	683,327	719,907	108	23,223
国際航空貨物量(t)	50,997	50,966	106	1,644
積込	24,609	23,567	106	760
取卸	26,388	27,399	105	884

(注) 1. 国際線旅客数は法務省、国際航空貨物量は東京税関の資料による。

航空機発着回数

前年同月比+1% (167回増、一昨年同月比+4%)で、開港以来最高を記録しました。

国際線発着回数は、前年同月比+2%の17,603回となり、開港以来最高を記録しました。

航空旅客数

前年同月比+5% (194,441人増、一昨年同月比+8%)で、単月として初めて400万人を上回り開港以来最高を記録しました。

国際線旅客数は、前年同月比+7%の3,295,539人で、開港以来最高を記録。うち外国人旅客数は、前年同月比+12%の1,433,975人で8月として過去最高となりました。

国内線旅客数は、前年同月比▲5% (33,374人減)の708,028人となっています。

通過客は、23カ月ぶりに前年同月を上回りました。

国際航空貨物量

前年同月比▲10% (18,517トン減、一昨年同月比▲2%)となりました。

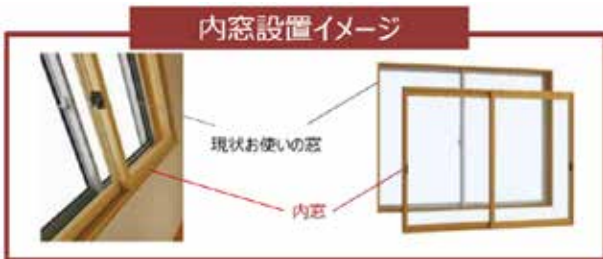
仮陸揚貨物量も、6カ月連続で減少しています。

NAA 内窓設置事業の開始等

今年3月の「成田空港に関する四者協議会」（以下、「四者協議会」）において合意された「成田空港の更なる機能強化に関する確認書」に基づき、10月1日から、（公財）成田空港周辺地域共生財団の事業として内窓設置事業を開始しました。当事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催までにA滑走路の発着時間を変更することが四者協議会で確認されたことから、A滑走路側を先行して実施します。

同事業は、寝室への内窓設置と寝室の壁・天井補完工事が実施され、現に居住する家族の人数分、1人世帯であっても敷地外に子や孫がいる場合には2室の対応をすとしてしています。

また、既存防音工事の充実については、ペアガラスへの助成、世帯の人数による防音工事限度額の柔軟化、浴室・洗面所・トイレの外郭防音化について実施されます。



また、昨年3月にオープンした空港南側（航空科学博物館敷地内）の内窓効果体験ハウスに続き、新たに空港北側（成田市）の特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法（騒特法）防止地区内に所在する防音工事済木造住宅に内窓を設置し、内窓の設置状況や防音効果が実体験できる「内窓効果体験住宅」を9月12日に公開しました。

場 所 成田市西大須賀 1775 - 1

予約方法 電話による事前予約
 電話番号：0570-000-955
 受付時間：平日9時～17時
 （12月29日～1月3日を除く）

オープン時間 原則平日の10時～16時

対応人数 最大20名程度（1回あたり）まで



NAA 屋内ナビゲーションアプリ「ナリナビ」開始

NAAは、9月20日から、ターミナル内の現在地から目的地への経路案内機能を備えた高精度屋内ナビゲーションアプリ「NariNAVI」（ナリナビ）を、国内空港として初めてリリースしました。

同アプリは、GPSが利用できないターミナル館内でも、現在位置をスマートフォン上のターミナルマップにリアルタイムに表示するとともに、搭乗ゲートや店舗などへの経路表示によるナビゲーションを行うほか、搭乗便の時刻変更・搭乗開始等が通知され、乗り遅れ等の防止になるマイフライト機能や、他の階層にある目的地までの経路を確認するのに便利な「2.5Dマップ」が採用されています。対応するOSは、iPhone (iOS 10.0～) / Android (Android 7.0～)、App Store/Google Play から無料でダウンロードできます。



国交省 2019年度概算要求

国交省航空局は2019年度予算の概算要求を発表しました。要求額は、4,194億円(今年度予算4,309億円)です。

成田空港については、81億円(今年度予算52億円)を要求しました。東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたCIQエリアの機能向上のための施設整備をはじめ、庁舎耐震対策、航空保安施設の老朽化更新等を実施します。また、NAAは会社事業費981億円を計上し、高速離脱誘導路やエプロンの整備、第3PTBの能力増強等を実施します。

羽田空港については、655億円(今年度予算712億円)を要求しました。飛行経路の見直しに必要な航空保安施設、誘導路等の施設整備、CIQ施設整備、環境・落下物対策を実施するとともに、駐機場の整備、国際線・国内線地区を結ぶトンネル(際内トンネル)の整備、川崎市・羽田空港を結ぶ連絡道路の整備、滑走路等の耐震対策及び基本施設・航空保安施設等の老朽化に伴う更新・改良を実施します。

この他、関西空港・伊丹空港は、31億円(今年度予算29億円)、中部空港は、39億円(今年度予算17億円)をそれぞれ要求しています。

概算要求の基本方針

1. 首都圏空港の機能強化

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催とその先を見据え、首都圏空港の機能強化に向けて、羽田空港の飛行経路の見直し等により、2020年までに羽田・成田両空港の空港処理能力をそれぞれ約4万回拡大することに取り組みます。また、国際競争力の強化等に必要となる施設の整備を引き続き重点的に実施します。

2. 地方空港等のゲートウェイ機能強化

- 訪日外国人旅行者の目標2020年4,000万人、2030年6,000万人の実現に向けて、更なる航空需要に対応するため、
 - i) 那覇空港・福岡空港の滑走路増設事業、CIQ施設を含めたターミナル地域の機能強化等
 - ii) 民間の資金と創意工夫を活かす空港運営の民間委託(コンセッション)の推進
 - iii) 「訪日誘客支援空港」への支援等による国際線の新規就航・増便の促進等に取り組みます。

3. 航空イノベーションの推進

- ストレスフリーで快適な旅行環境の実現を目指し、世界最高水準の旅客サービスを提供するため、先端技術の活用により旅客が行う諸手続や空港内外の動線等を抜本的に革新し、空路に係る一気通貫での円滑化等を通じた旅客満足度の向上を図る取り組みや、地上支援業務の省力化・自動化を図る取り組み、管制空域の抜本的再編等による管制処理容量の拡大等、航空イノベーションを推進します。

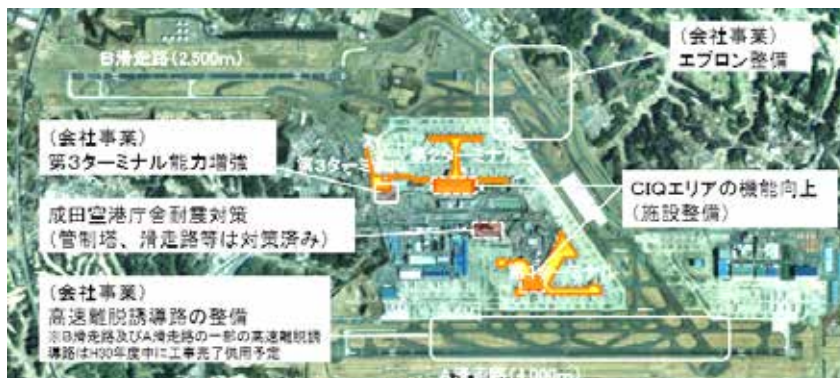
4. セキュリティ・セイフティの万全な確保

[1] 航空保安対策の強化

- テロに強く安全で安心できる快適な空港を目指し、先進的な保安検査機器の導入促進等により、航空保安対策を更に強化していきます。

[2] 安全で安定的な運航の確保

- 空港の耐震対策・老朽化対策等を着実に実施するとともに、国産旅客機の安全性審査、小型航空機対策、無人航空機対策等に取り組みます。また、人口減少社会に直面する我が国において増大する航空需要に今後とも的確に対応していくため、操縦士をはじめとする人材の確保・育成に取り組みます。



2019年度 成田空港の主要整備事項

国交省ホームページより

航空各社の動向

ベトジェットエア 成田ーハノイ線 新規就航

ベトナムのLCCベトジェットエア(VJ/VJC)は、2019年1月11日(金)から、成田ーハノイ線に1日1便で新規就航する予定です。使用機材はA321neo型機。同社は現在、A320シリーズや、A321シリーズを含む60機の機体を保有しており、1日に385便、94路線を運航しています。

運航スケジュール(2019年1月11日～)
成田ーハノイ

便名	運航時刻	運航日
VJ933	09:30 - 14:00	毎日

ハノイー成田

便名	運航時刻	運航日
VJ932	00:55 - 08:00	毎日

ジェットスター・ジャパン 成田ー高知線 新規就航

ジェットスター・ジャパン(GK/JJP)は、12月19日(水)から、成田ー高知線に1日1便で新規就航する予定です。同社は、成田空港を拠点に現在海外4都市(香港、台北、マニラ、上海)、国内11都市(札幌、関西、高松、松山、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇)に就航しており、成田空港に就航する航空会社として最多の国内12都市目に就航することとなります。

運航スケジュール(2018年12月19日～2019年3月30日)
成田ー高知

便名	運航時刻	運航日
GK423	12:35 - 14:30	毎日

高知ー成田

便名	運航時刻	運航日
GK426	15:05 - 16:25	毎日

チェジュ航空 成田ー大邱線 新規就航

チェジュ航空(7C/JJA)は、10月28日(日)から、成田ー大邱線に1日1便で新規就航する予定です。使用機材はB737-300型機。同社は、今回の開設により、成田から仁川、釜山と合わせて合計3路線、週40便運航することとなり、成田空港に乗り入れ

ている韓国LCCの中で最も多くの路線、便数を運航する航空会社となります。

運航スケジュール(2018年10月28日～)
成田ー大邱

便名	運航時刻	運航日
7C1119	20:30 - 23:10	毎日

大邱ー成田

便名	運航時刻	運航日
7C1112	05:55 - 08:35	毎日

セブパシフィック航空 成田ーセブ線 増便

セブパシフィック航空(5J/CEB)は、12月1日(土)から2019年3月30日(土)まで、成田ーセブ線を現在の週4便から1日1便に増便する予定です。

運航スケジュール(2018年12月1日～2019年3月30日)
成田ーセブ

便名	運航時刻	運航日
5J5063	13:55 - 18:30	毎日

セブー成田

便名	運航時刻	運航日
5J5062	07:40 - 13:10	毎日

JAL ガルーダ・インドネシア航空とコードシェア開始

JAL(JL)は、10月28日(日)から、ガルーダ・インドネシア航空(GA/GIA)とコードシェアを開始します。

対象となる路線は、両社が運航する日本ーインドネシア線と、JALが運航する日本国内線および日本以遠の北米線、GIAが運航するインドネシア国内線の一部の路線です。

今後両社は、コードシェアの拡大およびマイルレジプログラムの提携などを含む関係強化を行い、さらに将来的には共同事業を目指すとしています。

【対象路線】

JAL 運航便

- 成田ージャカルタ線
- 成田ーニューヨーク・ロサンゼルス線
- 羽田ー新千歳・中部・福岡線

GIA 運航便

- 成田ーデンパサール線
- 羽田ージャカルタ線
- ジャカルタースラバヤ・ジョグジャカルタ線

国内空港管理状況発表

国交省は、国内空港の2017年度空港管理状況調書を発表しました。

総乗降客数は、前年度比6.1%増の約3億1,439万人となりました。

国際線乗降客数は、前年度比11.2%増の約9,333万人、国内線乗降客数は、前年度比4.1%増の約2億2,105万人でした。

空港別乗降客数は、羽田空港が前年度比4.8%増の約8,568万人で1位、2位は成田空港で前年度比4.6%増の約3,896万人、3位は関西空港で前年度比12.1%増の約2,871万人となっています。

2017年度空港別乗降客数（1位～10位）

単位(人)				
順位	空港	合計	国際線	国内線
総乗降客数		314,386,689 (106.1%)	93,333,404 (111.2%)	221,053,285 (104.1%)
1	羽田空港	85,679,637 (104.8%)	17,120,272 (109.5%)	68,559,365 (103.7%)
2	成田空港	38,962,342 (104.6%)	31,501,667 (104.9%)	7,460,675 (103.5%)
3	関西空港	28,710,449 (112.1%)	21,809,004 (114.5%)	6,901,445 (105.0%)
4	福岡空港	23,979,222 (107.4%)	6,333,487 (122.3%)	17,645,735 (103.0%)
5	新千歳空港	23,092,374 (107.2%)	3,494,714 (128.4%)	19,597,660 (104.1%)
6	那覇空港	21,161,683 (105.6%)	3,636,922 (118.2%)	17,524,761 (103.4%)
7	伊丹空港	15,677,361 (103.8%)	0 (-)	15,677,361 (103.8%)
8	中部空港	11,523,157 (105.3%)	5,547,858 (106.3%)	5,975,299 (104.3%)
9	鹿児島空港	5,686,693 (104.5%)	335,221 (156.2%)	5,351,472 (102.3%)
10	仙台空港	3,439,239 (108.7%)	280,667 (124.4%)	3,158,572 (107.5%)

注) ()は前年度比

総着陸回数は、前年度比1.7%増の約131万回でした。

国際線着陸回数は、前年度比6.2%増の約29万回、国内線着陸回数は、前年度比0.5%増の約102万回でした。

空港別着陸回数は、羽田空港が前年度比0.8%

増の約23万回で1位、2位は成田空港で前年度比2.7%増の約13万回、3位は関西空港で前年度比5.5%増の約9万回となっています。

2017年度空港別着陸回数（1位～10位）

単位(回)				
順位	空港	合計	国際線	国内線
総着陸回数		1,310,677 (101.7%)	286,493 (106.2%)	1,024,184 (100.5%)
1	羽田空港	226,449 (100.8%)	42,320 (105.4%)	184,129 (99.8%)
2	成田空港	126,874 (102.7%)	99,503 (102.7%)	27,371 (102.7%)
3	関西空港	94,140 (105.5%)	69,282 (106.6%)	24,858 (102.6%)
4	福岡空港	89,261 (101.5%)	18,275 (109.9%)	70,986 (99.5%)
5	那覇空港	83,214 (100.0%)	11,889 (110.8%)	71,325 (98.4%)
6	新千歳空港	75,996 (104.6%)	9,902 (129.7%)	66,094 (101.6%)
7	伊丹空港	69,180 (99.7%)	2 (40.0%)	69,178 (99.7%)
8	中部空港	50,486 (99.6%)	19,353 (99.6%)	31,133 (99.6%)
9	鹿児島空港	33,618 (101.7%)	1,284 (139.6%)	32,334 (100.6%)
10	仙台空港	26,405 (105.8%)	1,117 (118.8%)	25,288 (105.3%)

注) ()は前年度比

貨物取扱量は、前年度比5.7%増の約587万トンでした。

国際線貨物量は、前年度比9.1%増の約413万トン、国内線貨物量は、前年度比1.5%減の約174万トンでした。

2017年度空港別貨物取扱量（1位～5位）

単位(トン)				
順位	空港	合計	国際線	国内線
総貨物取扱量		5,872,632 (105.7%)	4,129,457 (109.1%)	1,743,175 (98.5%)
1	成田空港	2,313,751 (105.8%)	2,282,097 (106.6%)	31,654 (67.6%)
2	羽田空港	1,283,596 (107.8%)	552,523 (120.8%)	731,073 (99.7%)
3	関西空港	851,559 (113.0%)	831,694 (113.1%)	19,865 (109.6%)
4	那覇空港	401,213 (96.2%)	180,050 (91.6%)	221,163 (100.3%)
5	福岡空港	258,559 (100.9%)	63,792 (107.7%)	194,767 (98.9%)

注) ()は前年度比

千葉交通 栗源・ジェイフィルムー成田空港線 一部運行経路の変更について

千葉交通株式会社は、10月1日から、成田小見川鹿島港線バイパス開通に伴い、路線バス「栗源・ジェイフィルムー成田空港線」の一部運行経路の変更を行いました。

これにより、「沢」・「開進入口」バス停が廃止に、「沢火の見」・「道の駅くりもと」・「沢野口」バス停が新設され、「新堤台」バス停は移設等となっています。また、一部バス停の運行時刻が変更されました。



東京空港交通

一部便の運行会社の変更

東京空港交通株式会社は、10月1日からのダイヤ改正に伴い、14時35分羽田空港（第2PTB）発ー成田空港着の便を、リムジン・パッセンジャーサービスからリムジンバスに運行会社を変更しました。

停留所名変更

同社は、10月1日から、恵比寿・品川エリアー成田空港線の「京急 EX イン 品川駅前」の名称を「京急 EX ホテル品川」に停留所名を変更しました。

**8月の訪日客 257万7,800人
単月として過去最高を記録**

日本政府観光局（JNTO）が発表した8月の訪日外客数は、前年同月比4.1%増の257万7,800人で、昨年8月の247万7,428人を10万人以上上回り、8月として過去最高を記録しました。

航空会社の新規就航等による航空路線の拡充

に加え、継続的に展開している訪日旅行プロモーションの効果もあり、訪日外客数全体としては昨年同月を上回りました。一方で、大阪府北部の地震や7月豪雨の影響により、これまで訪日者数の伸びを牽引してきた東アジア市場の一部で、訪日需要が抑えられたことが、訪日外客数全体の伸びの鈍化に影響を及ぼしました。

国・地域別では、イタリア、スペインが単月として過去最高を記録したほか、16カ国・地域（中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ、ロシア）で8月として過去最高を記録しました。

また、8月までの累計は2,130万8,900人となり、これまでで最も早いペースで2,000万人を超えています。

2018年訪日外客数

月	2017年	2018年	伸率
1月	2,295,668 (2,006,775)	2,501,409 (2,171,045)	9.0 (8.2)
2月	2,035,771 (1,791,122)	2,509,297 (2,280,872)	23.3 (27.3)
3月	2,205,664 (1,898,944)	2,607,956 (2,283,596)	18.2 (20.3)
4月	2,578,970 (2,300,476)	2,900,718 (2,603,797)	12.5 (13.2)
5月	2,294,717 (2,020,226)	2,675,052 (2,391,395)	16.6 (18.4)
6月	2,346,442 (2,117,253)	2,704,631 (2,454,154)	15.3 (15.9)
7月	2,681,518 (2,426,074)	*2,832,000	*5.6
8月	2,477,428 (2,208,644)	*2,577,800	*4.1
9月	2,280,406 (1,965,310)		
10月	2,595,148 (2,289,918)		
11月	2,378,079 (2,100,951)		
12月	2,521,262 (2,315,900)		
1~8月	18,916,178 (16,769,514)	*21,308,900	*12.6
1~12月	28,691,073 (25,441,593)		

◆注1：2018年の*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2017年の値は確定値である。

◆注2：訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆注4：（）内は、総数のうちの観光客数である。

出典：「日本政府観光局（JNTO）」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 都市ボランティア募集中

千葉県では、2020年に開催する東京オリンピック・パラリンピック大会を盛り上げるため、そして、国内外から来られる大勢の方々をおもてなしするため、競技会場周辺の主要駅や空港などで、周辺エリアや観光地、交通アクセスの案内などを行う「都市ボランティア」を募集しています。主な募集内容は次の通りです。

募集人数

3,000人程度

募集期間

9月12日から12月10日（月）まで

募集・運営主体

千葉県、千葉市、一宮町、成田市、浦安市
※都市ボランティアは競技開催自治体が主体となって募集・運営を行います。

活動期間・時間

大会開催期間を中心として5日程度、1日当たり5時間程度

主な活動内容

会場周辺駅や空港などで、国内外から来る旅行者に向けた交通案内や観光案内

活動エリア

5つの活動エリアから、希望するエリアを1つ選んで活動



千葉県ホームページより

詳細は、千葉県のホームページをご覧ください。
www.pref.chiba.lg.jp/volunteer2020/about/index.html

ANA 「乗ると元気になるヒコーキ」プロジェクト始動

ANAホールディングス(株)は、「乗ると元気になるヒコーキ」プロジェクトの第一弾として、9月14日から「時差ボケ調整アプリ」の提供を開始しました。

このアプリは、フライト情報や現地での予定をもとに、時差ボケを調整するために必要な光の浴び方、食事のとり方、睡眠・仮眠の取り方、体の動かし方など、体に良いことやいけないことが、出国前、機内をはじめとした渡航中、帰国後のそれぞれのタイミングにアプリで提供されます。

同社は、ANAグループの新たな挑戦となる「ANA Travel Wellness 乗ると元気になるヒコーキ」プロジェクトを始動。旅客がヒコーキに搭乗した後も疲れを感じず最大のパフォーマンスを発揮できるように、さらには「ヒコーキに乗る前よりも元気になってもらいたい」という思いをこめ、現代の最新技術を取り入れたプロジェクトで、ANAHD大橋洋治相談役がANA社長時代に発案し、その後ANAグループで様々な角度から検討を重ねてきたものです。

第二弾以降は、「空の人間ドック」や「機内マインドfulness」などの取り組みを通じて、プロジェクトのサービスを充実させ、旅の常識を覆す新たな体験価値の提供を目指しています。

「乗ると元気になるヒコーキ〜」プロジェクト今後の展開イメージ

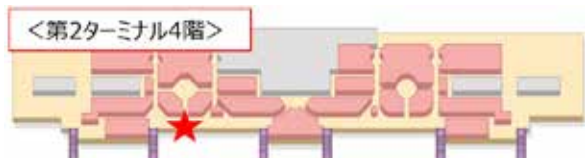


ANA ホームページより

成田空港 新店舗情報

『GOBI』（期間限定）

- 取扱品目：カシミアニット製品
オーガニック素材を中心とした
ストール・手袋・帽子など
- 営業期間：9月28日～2019年2月28日（木）
- 営業時間：8時～20時
- 営業場所：第2PTB4階



九州8都市いずれかへの航空券 が当たるキャンペーン実施中

9月6日に就航した長崎線により、成田空港からの国内線は20都市となり、また、九州全県にLCCネットワークが拡大しました。これを記念して、抽選で8組16名に九州8都市いずれかへのペア往復航空券が当たるキャンペーンを実施しています。

- 応募期間：9月20日～11月15日（木）
- 応募条件：ナリタニスト[※]会員もしくは対象期間中に新規に会員登録した方
- 賞品内容：成田空港からの九州8都市いずれかへのペア往復航空券（8組16名様）
※福岡、宮崎、大分、佐賀、熊本、長崎、鹿児島、奄美大島のいずれか
※行先の指定は不可
※宿泊費、現地交通費、成田空港までの交通費等は各自負担
- 当選発表：11月下旬に当選発表予定
詳細はキャンペーン特設ページ内で後日公開予定
〈URL: <https://naritanist.net/mysterytour>〉

※ナリタニストとは？

会員数約5,000人の成田空港から旅立っていく旅人たちとそれを共有する人たちのコミュニティー。空港内イベントを開催したり、WEB上で旅の魅力について情報発信しています！

成田空港ハンドブック 販売中

「2018 成田空港ハンドブック」を販売しています。
価格は1,000円（税込）。

ご購入・お問い合わせは、
当協会（0476-34-6393）まで。



2018 成田空港ハンドブック（表紙）

語学教室 受講生募集

当協会では、成田空港従業員を対象とした英語教室の受講生を募集しています。授業を体験することもできますので、是非、お問い合わせ下さい。

- 日 時 水曜日 18:00-18:55
- 受講料 月額 6,700円（別途テキスト代）
- 会 場 第2駐車場ビル南棟3階（P-3028）

【お問い合わせ】

（一財）成田国際空港振興協会
公益推進部 麻生・成毛
TEL:0476-34-6393

ホームページ <http://www.npf-airport.jp/>



第7回成田空港力検定 開催

振興協会では、9月15日、「空の日」・「空の旬間」記念事業の一環として、「第7回成田空港力検定」を開催しました。

山形県や長崎県など首都圏以外からも参加され、最年少は11歳、最年長は79歳と幅広い世代から156名が受験をしました。

今回は、全70問中最高正解数は61問。残念ながらゴールド(63問以上正解)獲得者は出ませんでしたが、シルバー(56～62問正解)6名、ブロンズ(49～55問正解)27名という結果となりました。

検定終了後には、JALやNCAハンガー、さくらの山公園と航空科学博物館の3コースのバスツアーを実施しました。



試験会場の様子

CSセミナーのお知らせ

開催場所は、第2PTB2階の国際会議室(M2244)です。

■接客マナー講座(基礎編)

日時 10月9日(火)14時00分～15時30分
定員 30名
講師 越山 揺巳香氏(株)ノビテク
内容 接客の基本表現、挨拶などを楽しく学びます。

■接客マナー講座(応用編)

日時 10月29日(月)14時00分～15時30分
定員 30名
講師 田井 暢子氏(株)GMR元JALスカイ主任教官
内容 お客様のご意見から実践的に学びます。

■英語セミナー(入門接客英語(挨拶・施設案内編))

日時 10月24日(水)14時00分～15時30分
定員 30名
講師 (株)IBジャパン
内容 空港内でよく聞かれるシーンをもとに役立つフレーズを紹介します。

■パーソナルカラー入門講座

日時 10月26日(金)
第1回 10時00分～11時30分
第2回 13時30分～15時00分
第3回 15時30分～17時00分
定員 20名
講師 (株)リンクスラボラトリー 金井 津美氏
内容 自分に適したカラーが判るコツを習得して、自分を磨いて接客力アップを目指します。

■中国語セミナー(挨拶・館内施設案内(超入門))

日時 10月30日(火)14時00分～15時30分
定員 30名
講師 (一財)成田国際空港振興協会 栗栖 尚美氏
内容 挨拶や簡単な施設案内を学ぶ、超入門者向けセミナーです。

【お問い合わせ】

成田国際空港振興協会 セミナー担当 栗栖・加藤
0476-34-6333 Email: cs@npf-airport.jp

航空科学博物館のイベント

■ANA 空港おしごと体験

日時 10月7日(日)10時～16時
場所 本館内
費用 入館料のみ
内容 航空機の誘導等が体験できるイベントです。舞台裏の仕事が体験できます。

■やさしい航空のはなし「客室乗務員のおはなし」(ANA)

日時 10月21日(日)13時～
場所 館内1階多目的ホール
費用 入館料のみ
内容 客室乗務員の経験から仕事の魅力や体験談など生の声を聞くことが出来る講演会です。特に将来客室乗務員を目指している方には貴重な機会です。

■企画展示「命を救え!ドクターヘリ」

展示日 8月1日～10月28日(日)
場所 館内2階展示室
費用 入館料のみ
内容 ドクターヘリについて内部の救急装備品、活動エピソードなどを実物・パネル等で紹介します。

【航空科学博物館】

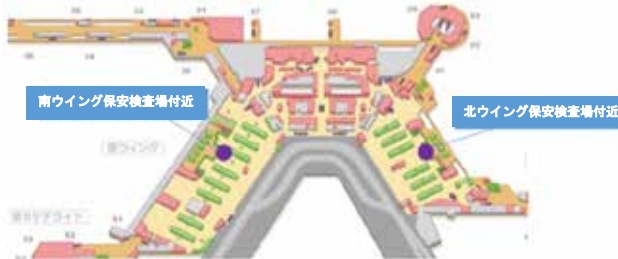
開館時間 10時～17時
休館日 月曜日(祝日の場合翌日)
入館料 大人500円、中高生300円、4歳以上～小学生200円
お問い合わせ 0479-78-0557
※12月はリニューアル工事のため休館

北海道胆振東部地震災害義援金に係る 募金箱の設置

9月に発生した北海道胆振東部地震により、被災された皆様を支援し被災地の1日も早い復旧・復興に役立てるよう、9月12日～12月末頃(予定)まで、ターミナル内に募金箱が設置されています。

※ お寄せいただいた義援金は日本赤十字社を通じて被災地へお届けする予定です。

第1PTB4階出発ロビー保安検査場付近(北ウイング・南ウイング)



第3PTB2階出発ロビー保安検査場付近



第2PTB3階出発ロビー保安検査場付近(北側・南側)



尾翼

30回講演会特別企画として、LCC3社(ジェットスター・ジャパン、バニラ・エア、春秋航空日本)と就航先3自治体(大分県、佐賀県、奄美市)をお招きしたシンポジウムはとても充実したものとなり、プレゼンター各位及び今回共催のNAAに大いに感謝いたします。初めて用いた個人のスマホから質問できるソフト「sli.do(スライドウ)」も極めて好評でした。

NAAからは、中期経営計画の目標値である国内20都市への就航が実現し、成田空港が国内線旅客数6位の空港となったのはLCC就航がもたらした成果であると発言がありました。また、既存エアラインの就航先にLCCが就航しても、LCCが若い人を中心に新しい需要をもたらした結果、旅客総数が増加したことや、各自治体に大きな経済効果をもたらすとともに、それぞれに熱い思いが語られ、LCC効果が大きなものであると改めて認識したところです。

先月号本稿では、東北、北海道方面への路線新設を求めましたが、各社は既存路線の便数を増加させたい意向でした。LCCの特徴の一つである高頻度運航による機材効率を更に高めれば増便も可能で、そのため成田空港の夜間発着制限の緩和が重要であることでしたし、自治体は、需要層である若い人が興味を持ってもらえるコンテンツ作りにも努力していくとのことでした。

講演会後の懇談の場では、成田空港に到着した後各地へのバスアクセスが周知されていないことや成田空港周辺にも観光資源があるのご意見があり、初めて見た落花生の収穫風景、我々にとって何気ない風景が観光資源になりえることも学びました。普段着の旅を格安料金のLCCで楽しむ、これが需要創出の源であると感じましたが、成田空港を訪れた皆様が魅力を感じる地元観光資源はまだまだまだたくさんありそうだと感じたところです。

23日、空の日フェスティバルが2PTB前中央広場で開催され、明るいユニフォーム姿のLCC各社が大いに盛り上げてくれました。空市でもクリスマスFでも同様でした。元氣なLCC、成田空港への貢献は誠に大きいのです。

(T・S)